

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		デマンド交通運営事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	040604000292
		総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	010201
		0406 道路整備と交通網の充実			主要事業	対象外	企画課	
政策体系		政策名			市長マニフェスト	対象外		
		04 快適で潤いのある生活環境づくり			未来PJ事業	対象外	グループ	企画グループ
		施策名			合併建設計画事業	対象外		
		06 道路整備と交通網の充実						
		基本事業名						
		06 公共交通サービスの確保						
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	02	01	08	01	00	企画事業	
法令根拠					桜川市デマンドタクシー運行事業補助金交付要綱			
【Do】					1. 事務事業の現状把握(その1)			

(1) 事務事業の概要		①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
手 段	「交通弱者の移動手段の確保」及び「地域商業の活性化」を目的として、桜川市商工会が運行しているデマンド型乗合タクシー運行事業への補助を行っている。			<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付要綱に基づき、補助金を交付する。 適切に補助事業が実施されるよう、補助事業者等に対し指導を行う。 適切に補助事業が実施されるよう、補助事業者の執行状況を把握する。 デマンドタクシー関係者会議を開催し、関係者の情報共有・意見交換を行い、より利便性の高いシステムを目指す。 市民からの問い合わせ、クレーム等の対応。 事前登録やチケット販売等に係る事務。 タクシー事業者との協議により、運行に係る経費を一部削減した。 	
	桜川市商工会は大和事務所内に予約センターを設置し、市内タクシー事業者から車両5台を借上げて運行、市補助金と利用券収入により運営している。利用できる人は、事前登録した市民のみ。運行エリアは、市内及び筑波山口バスターミナルまでとなっており、運行エリア内であれば、乗り換えなしで移動が可能である。事前予約(利用の2日前~1時間前)により、配車を決定し、乗り合いながら目的地へ向かうシステムである。 1乗車あたりの料金は、大人300円、中学生200円、3歳~小学生100円。ただし、岩瀬・大和地区から筑波山口へはその倍額となる。午前8時~午後5時(最終は午後4時登)の間、1時間に1便運行している。				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
①手段 (担当者の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> 補助金交付。 補助事業者等に対し指導。 執行状況の把握。 関係者の情報共有・意見交換。 市民からの問い合わせ、クレーム等の対応。 事前登録やチケット販売。 運行に係る経費を一部削減。 	稼働日	日	241.00	0.00	242.00	242.00	242.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
市民	人口	人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00		
	登録者数	人	6,090.00	0.00	6,030.00	6,030.00	6,030.00		
	登録世帯数	世帯	3,001.00	0.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00		
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
移手段を確保できる。	延べ利用者数	人/年	20,080.00	0.00	19,300.00	19,300.00	19,300.00		
	1日あたりの利用者数	人/日	83.30	0.00	80.00	80.00	80.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

(3) 投入量(事業費)の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	30,240	0	30,000	30,000
	事業費計(A)	千円	30,240	0	30,000	30,000	30,000
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	
	述べ業務時間	時間	285.00	500.00	500.00	500.00	
	人件費計(B)	千円	827	1,451	1,451	1,451	
トータルコスト(A)+(B)		千円	31,067	1,451	31,451	31,451	

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)			28年度事業費 予算(千円)		
				13 委託料	30,000	
	合 計			合 計		
0			30,000			

(4) 当該年度の実施内容		28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		<ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシー運行事業補助金交付に関する事務。 デマンドタクシー関係者会議及び地域公共交通会議の開催。 デマンドタクシーを含む市内公共交通の見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシー運行事業補助金交付に関する事務。 地域公共交通会議の開催。 デマンドタクシーを含む市内公共交通の見直し。 	<ul style="list-style-type: none"> デマンドタクシー運行事業補助金交付に関する事務。 地域公共交通会議の開催。 デマンドタクシーを含む市内公共交通の見直し。
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 				

事務事業名	デマンド交通運営事業	事務事業No.	40604000292	所属課	企画課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 路線バスの撤退などによる交通空白地への対応と併せて、合併後の地域公共交通事業の再編のために、新交通システムの導入を検討した。 平成20年度から、それまで実施していた高齢者福祉タクシー利用料金助成事業、福祉巡回バス運行(岩瀬地区のみ)を廃止し、デマンド型乗合タクシーを導入した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 安い料金で、移動できるため、とても助かっている。という意見は多い。特に、通院機会の多い高齢者の方や、市街地から少し離れた地区に住んでいる方、親が共働きの子どもの移動に利用されている方から喜ばれているようである。要望としては、「土日祝日も運行してほしい」、「市外まで運行エリアを拡げてほしい」などがある。また、待ち時間や移動所要時間についての不満もある。一方で、利便性の向上は、タクシー事業者を圧迫するとの意見もある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	交通弱者の移動手段の確保は、市民の安全かつ快適な生活に必要な不可欠なものであり、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	事前登録が必要となるが、全ての市民が利用できるもので、妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	デマンド交通システムの周知徹底をすることによって、市民の方がスムーズに利用できるようになり、利用者の増加にも結びつく。利用者の動向を分析し、今後の運営の在り方について検討していく。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	他の公共交通がない現状では、車の運転ができないような交通弱者の移動が困難となる。 (一般のタクシーは利用できるが、定期的な通院等において金銭的な負担が大きくなってしまう。)
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	民間病院等が運営する送迎サービスはサービス形態が似ていることから、連携策が講じられる可能性はある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	曜日・時間帯によって、利用数に偏りがあるため、時間帯を限定した減車や、また利用者数が徐々に減少していることから、常時の減車についても検討の余地あり。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	利用者一人あたりの費用が高いため、受益者負担の観点から、運賃や運行形態の改善を検討する必要がある。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	交通弱者の移動手段の確保として、デマンドタクシーは非常に有効なシステムである。タクシー事業者と協議を重ね、車両借上げに係る料金制度の一部見直しを行ったことで、経費を削減することができた。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
<ul style="list-style-type: none"> 新システム導入により、効率的な配車が可能となったが、それを補助金に反映し経費削減することができない仕組みになっていることから、制度の見直しが必要である。 これ以上の利便性の向上は民間タクシー事業者の経営を圧迫するため、不可能と考える。市民に公平により利便性の高いサービスを提供するには、根本的な制度の見直しが必要。 デマンドタクシーの運行形態の見直しを含め、公共交通政策の検討には、地域公共交通会議での協議が必要。 タクシー事業者等の関係機関との調整が必要。 	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>